

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和6年(2024)10月31日

11月号



URL : www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

つながりを大切に

児童支援専任 伊藤 一美

スポーツの秋としては少し暑すぎる天候の日もありますが、先日、横浜マラソンが開催される沿道に応援に行ってきました。目標達成のために、一步一步確実に前進するランナーの姿やそれを支えるボランティアの方々の笑顔、拍手や声援で応援する人々の姿を見ると、心が湧きたちます。自分も目標に向かって走り抜きたいと気持ちを新たにしました。後期が始まり、折り返し地点を過ぎました。子どもたちは、前期を振り返り、後期のめあてをそれぞれもちながら過ごしています。一人ひとりが安心して過ごし、日々、少しずつ成長できるよう児童支援専任として支援していきたいと考えています。

さて、後期最初の遠足的行事として、1・2年生で新江ノ島水族館遠足に行ってきました。2年生は、昨年度の経験を活かし、今回は、1年生を連れて水族館を見学しました。千秀小は単級学年が多いからこそ、他学年とペアを組んで意図的に活動を進めています。上学年が下学年のことを考えて声かけや行動をすることでつながりを深めたり、自分のことから他の人のことを考えたりする経験を低学年から大事にしています。たてわりのスマイル班の1・2年生でペアを組んで活動を進めました。事前活動では、特別教室を水族館に見立て、校内オリエンテーリングを行いました。班でまとまって行動すること、走ったり騒いだりしないこと、時間を守ることなどの約束を守って活動を進めました。また、全校スマイル集会で取り組んだレクリエーションを1・2年生でも行い、楽しい活動で仲を深めて遠足当日を迎えました。遠足後に1年生に話を聞くと、「お休みの人がいて、2年生が1人で3つも役を頑張っていたから、僕も進んで2年生を助けたよ。」「私は2年生に手をつないで連れて行ってもらえたから迷子にならなくてよかったよ。」と、具体的なエピソードを語ってくれました。その思いを大切に、事後には感謝のお手紙を1年生から2年生に贈りました。さらに、サプライズで、ペア学年の6年生が1年生に、5年生が2年生に「遠足がんばったね!」のメッセージカードを贈ってくれました。このように、つながりを大切にする活動を重ねていくことが千秀小のよさであり、人権教育の一環でもあります。

千秀小では、人権テーマ『みんななかよし かがやく えがお～だれもが あんしんして たのしく かよえるがっこうに～』を目指して、各学級で目標を立て、日々の学校生活に取り組んでいます。自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになることで、誰もが安心して過ごせるいじめのない学校にしていきたいと考えます。ここ数年は、コロナ禍で人との関わりが制限されてきたため、今の教育活動ではより人とのつながりを大切にしたい学びを充実させていきます。

最後にお知らせです。12月10日に、人権講話で癒^{いや}シンガーKeiko様をお招きし、歌う講演『わたしはひとりじゃない』を行います。「大切な自分 大切なあなた」というメッセージを、歌を通して伝えていただきます。ぜひ保護者や地域の皆様のご来場もお待ちしております。